



お お とり 大 鴻

平成31年1月24日

文責：校長 三代 俊也

1・2年体験学習発表会

12月に実施した1年生の職場体験学習、2年生の修学旅行の報告会が14日午後に行われ、たくさんの保護者の皆様に参観いただきました。

両学年ともすべての班が自分たちで作成したパワーポイントの資料を使ってプレゼンを行い、学んだことを短時間できちんと発表できていました。(原稿を読まないで発表する姿も良かった)



1年生の発表では、「お客様の役に立てて、喜んでもらったときにやりがいを感じる」「信頼や感謝を得られる」などのまとめがたくさんだされていました。最初は働く理由として「お金をかせぐため」「よい暮らしをするため」等が挙げられていましたが、実際に働く体験をして、生活のため以外の大切なものがあることを見つけたようです。

2年生の発表では、多くの班が東京駅などで大分県のPRをして、多くの方が大分県のことをよく知らないことを実感したようで、「魅力度をアップ」するためには、もっと大分のことを知ってもらうことが必要だと述べていました。さらに、お年寄りや外国人への配慮などを指摘する意見も出て、「県庁の人にも聞いてもらいたかった」という感想もありました。

2日連続で公開授業研

21日、22日と2日連続で公開授業研を行いました。

21日は澤井陽介国土館大学教授(元文科省視学官)を招聘し、1年A組と2年A組の社会科の授業を観ていただきました。2年生はイギリス・アメリカ・フランスの近代革命を調べ、3つの革命に共通するものを考える授業でした。2年生は鎌倉時代を象徴するキーワードを考え大観する」授業でした。生徒がしっかりと調べたことをグループで共有している姿、ピラミッドチャートやベン図、マトリックスを使って効果的な思考をしている姿はとても印象に残りました。

22日は灘中学・高校の英語教師で「コメタン」などの参考書を多数執筆しているキムタツこと木村達哉先生をお招きして講演会(1・2年生



生徒+保護者63名)と授業研究会を開催しました。関西弁でユーモアを交え、高校でのビリから2番からの大逆転劇や脳科学を踏まえた単語の暗記法を、また授業研では脳科学と「大量のインプット無くしてアウトプットなし」理論を活用したりスニング・スピーキング指導法など記憶に残る有意義な研究会となりました。保護者の皆さんの感想は「人生は、全勝しなくてよい。勝ち越せばよい」という言葉が印象に残ったという方がたくさんいました。



入試始まる、体調管理を!

16日、高校入試のトップを切って私立の特奨・推薦入試が行われました。当日はインフルエンザ等で欠席する生徒もおり、まずは順調に滑り出したようです。

来週31日には私立一般入試、2月7日には県立推薦入試、そして3月12日は県立一次入試と気の抜けない日々が続きます。これから1か月半、しっかり食べて睡眠時間を確保しつつ体調管理に万全を期してください。

また、「本番は練習のように、練習は本番のように」を忘れず、落ち着いていつも通りのやり方で力を出し切るようにしましょう。目を閉じゆっくり深呼吸……、目を開ければいつものあなたがいる!

◇◇◇ 2月の諸活動 ◇◇◇

- 2/5 新入生保護者説明会
- 2/7 県立推薦入試、PTA 常任委員会・合同役員会
- 2/12 3年学年末PTA
- 2/15 文科省・全附連学校視察
- 2/18 1・2年学年末考査(～20)
- 2/22 第3回学校評議員会

